

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-503189(P2005-503189A)
【公表日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)
【年通号数】公開・登録公報 2005-005
【出願番号】特願 2002-587036(P2002-587036)
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 N 1/04

A 6 1 B 5/0408

【F I】

A 6 1 N 1/04

A 6 1 B 5/04 3 0 0 C

A 6 1 B 5/04 3 0 0 W

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 9 日 (2005.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導電性媒体に接触する導体を含む生体用電極であって、前記導体が、少なくとも部分的に塩化された銀の導電的に活性の供給源を含み、電極が少なくとも 1 つの有機腐食抑制剤をさらに含む、生体用電極。

【請求項 2】

前記導体が、その 1 面に部分的に塩化された銀の層が施されたフィルムの形態でポリマー材料を含む、請求項 1 に記載の生体用電極。

【請求項 3】

前記導体が、その上に少なくとも部分的に塩化された銀を有する基材を含み、銀が有機腐食抑制剤で処理されている、請求項 1 に記載の生体用電極。

【請求項 4】

有機腐食抑制剤がメルカプタンおよびアゾールからなる群より選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の生体用電極。

【請求項 5】

薬剤が、2 - メルカプトベンゾオキサゾールおよびオクタデカンチオールからなる群より選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の生体用電極。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】生体用電極